

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

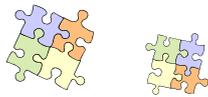
2012年9月発行

はもりあ四日市では、8月までに映画上映会、男性の料理教室、夏休み子ども工作教室など大好評のうちに終了しました。そして10月から3月まで「さんかくカレッジ2012」を続々と開催します。テーマも家族の健康、父親の育児参画・家事参加、女性の再就職応援など盛りだくさんです。ぜひご参加ください。

## 決定

さんかくカレッジ2012

市民企画講座 5企画



今年度、はもりあ四日市が実施する「さんかくカレッジ2012」のうち、市民企画講座として、9つの市民グループに企画・応募いただき、選考の結果、次の5企画に決定しました。

いづれも魅力いっぱいの内容となっています。詳しい講座内容につきましては、順次お知らせいたします。みなさま、ぜひご参加ください。

### 『子育てパパになろう!!』

～子供とのつながり方教えます～

パパの育児への関心・参加を促進し、なおかつ他の親子と自然なかかわりを持ち、パパ(ママ)同士が、子育ての悩みを共有したり交流を深めたりする3回連続講座です。

第1回 10/13(土)

第2回 11/17(土)

第3回 12/ 1(土)

## パパ魂

### 『ヘルサイズのはら』

メタボ予防実践プログラム

あなたの“生活スタイル”を見直してみませんか？メタボの方もそうでない方も健康について学習しましょう。男女が共に健やかに生きるために健康づくりに歩み出しましょう！5回連続講座。

第1回 10/25(木)、第2回 11/22(木)

第3回 12/20(木)、第4回 1/24(木)

第5回 2/28(木)

## まんなか

### 『親子 お片づけ教室』

小学生のための整理収納術

片付けする楽しさ・気持ちよさをしってもらいと共に、家族が楽しく暮らすためには、家族の一員としてどんなお手伝い出来るかも考えてもらう、子ども向け3回連続講座。

第1回 10/27(土)

第2回 11/17(土)

第3回 12/ 8(土)

## 幸せな家庭環境 をつくる会

### 『お父さんも家事を楽しみませんか?』

家事は女性だけの仕事ではなく、男性も家事に参加し自立すること、家族で協力して家庭を作っていくことが大事。お父さんも家事をする姿を子どもが見て育っていくことは大切。4回連続講座。

第1回 1/12(土)

第2回 1/26(土)

第3回 2/ 2(土)

第4回 2/16(土)

## 四日市友の会

### 『みんなでクッキング』

世界の料理を楽しもう!』

世界(台湾・フィリピン・イタリア)の料理を体験しながら、それぞれの国の男女共同参画の現状についてお話を聞きます。最終日には、アコーディオンの演奏会も公開で行います。

第1回 1/19(土)

第2回 1/26(土)

第3回 2/ 2(土)

## モンブラン会

## 今年度DV防止基本計画（仮称）を策定します

市では、女性のあらゆる悩みの相談を平成5年から行っています。相談の中でも、近年では、配偶者やパートナー、恋人からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）についての相談が100人を越えています。

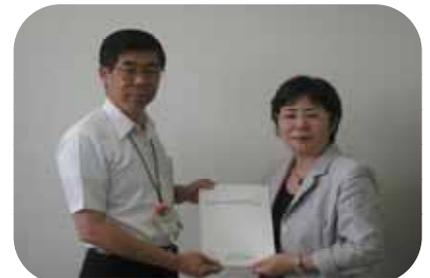
このような状況から、DVの防止と被害者への支援を総合的・計画的に推進するため「四日市市DV防止基本計画（仮称）」を平成24年度に策定することとなりました。

### 【四日市市男女共同参画審議会より「DV防止基本計画（仮称）のあり方」について答申】

計画の策定に向けて1月に市民意識調査を実施し、3月に男女共同参画審議会に「DV防止基本計画（仮称）のあり方」について諮問しました。審議会では、専門部会を設置し、市の現状や市民意識調査の結果等を踏まえて議論を重ね、7月に次の4つの基本目標を柱として計画を策定するよう答申をいただきました。

- DVを許さない社会づくり
- 安心して相談できる体制づくり
- 被害者等の保護充実と加害者対策
- 被害者等の生活安定と自立支援

この答申をもとに、市で計画（案）を検討するとともに、審議会で審議をいただいたうえで、11月ごろにパブリック・コメントを行う予定です。ぜひ、その際には皆さまのご意見をお願いいたします。



市民文化部長（左）に答申を手渡す  
審議会の松井会長（右）

## 夏休み子どもさんかくカレッジ 8/28 実施しました



6回目を迎えた今回は、小学生とその保護者を対象にちょっとさんかく教室&三重県の伝統工芸伊勢型紙を使ったうちわづくりをしました。

ちょっとさんかく教室の男女共同参画クイズでは、×のふだを持って12の問題にチャレンジ!! いくつ出来たかな?

 **問題**赤は女性の色・・・×です。 **問題**男性も看護師や保育士になれる・・・です。クイズは、簡単だったけどおもしろかった。人口が男女ほぼ同数であるのに議員数に非常に差があり今後女性の市政参画に更なる努力が必要だと感じた。など感想がありました。男の子だから、女の子だからではなく、その子らしく生きられる社会を実現しましょう!

続いて伊勢型紙、渋紙（柿渋を塗って貼り合わせた紙）の絵を切り抜く挑戦!! 出来上がった伊勢型紙をうちわに貼りました。刃を動かすのではなく渋紙を動かして切り抜くのがコツです。子供たちからは、「なかなか切れなかったのでイライラした。」「自分だけのうちわが作れて楽しかった。」「彫るのが難しかったけど、うまくできてうれしかった。」などの感想がありました。保護者からは、「想像以上に子供が熱中していたので驚いた。」「伝統工芸に子供が興味を示したのが良かった。」などの感想がありました。

伊勢型紙は、世界に誇れる伝統工芸です。大切にしていきたいですね。



<ぬりえ>



< ×クイズ >



<伊勢型紙&うちわづくり>

相談室  
から

平成24年度 はもりあ四日市DV防止講演会

# DVってなに?!

～私にできる被害者支援～

「DV」ってどんなことでしょうか？

殴る・蹴る...それだけがDVではありません。

DVが何かを知ることから、私たちにできることを一緒に考えませんか。

10月27日(土)

13:30~15:30 (開場13:00)

場 所: 本町プラザ 1階ホール

定 員: 100名 随時受け付け

参加費: 無料

託 児: 無料 10月12日(金)までにお申し込みください。

11月17日~25日は  
「女性に対する暴力  
をなくす運動」期間  
です。



女性に対する暴力根絶  
のためのシンボルマーク

講師 加藤 伊都子 さん  
(フェミニストカウンセリング講師)

フェミニストカウンセリング場及び自治体の相談室でフェミニストカウンセリングを行うほか、女性のための自己主張・自己尊重トレーニングのグループトレーナー、サポートグループ・CRなど女性のための語り合いグループのファシリテーター活動を行う。また、セクハラ・DV防止研修、被害者支援活動を行うとともに、親業インストラクターの経験を活かし、教育問題講演会、母親グループのファシリテーターなど、子育て支援にも取り組む。

お問合せ・お申込みは、はもりあ四日市まで

## 今月のおすすめ本

今月は、9月1日の防災の日になんで災害に関する本と9月上映予定の映画を紹介します。

映画前売り券は「はもりあ四日市」で販売しています。



『災害がほんとうに襲った時  
~阪神淡路大震災50日の記録』  
中井久夫 著

1995年1月の阪神淡路大震災の被災者であり、当時、神戸大学病院の精神科の医師であった著者自身が、震災直後から心のケアを中心に関与観察したことを綴った50日間の記録を、東日本大震災を機に過去から学ぶためにと再編集、発行された本です。

この中で、神戸の精神科病院が震災当日から活動しえたのは、「神戸には、かねてから社会精神医学的ネットワークが存在したからだ」と記されています。いざという時に動けるのは、普段からのネットワークだということを感じさせてくれる一冊です。



『311:ここに生きる』 我謝京子監督

東日本大震災後を生きる女性たちのドキュメンタリー。女性の視点でドキュメンタリー映画を企画製作している我謝京子さんを監督に、東北3県での取材をもとに震災後の女性たちの声を映像の記録として撮影したもの。

9月17日(月・祝) 13:30~

三重県総合文化センター多目的ホールにて上映

(前売券500円、当日券700円)

\*15:55~我謝監督を囲んでのシネマカフェも開催します。(映画セット券:前売り1000円、当日1200円)

今月のキーワード

## 防災基本計画

国の防災基本計画に「地域の防災力向上を図るため、防災に関する政策・方針決定過程及び防災の現場における女性の参画を拡大し、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制を確立する必要がある」という男女共同参画に関する記述がされています。なぜ、国の防災基本計画にこうした記述がされているのでしょうか？現在、防災分野で指導的立場にある人のほとんどが男性で占められています。

このように男性主導で防災に関する対策を進めると災害発生時における男女のニーズの違いなど男女双方の視点に十分配慮することが難しくなります。

例えば、避難所での授乳スペースや女性更衣室など、プライバシーに関わる場所を設置する重要性が理解されないといった問題があり、避難生活を送るなかで、このような問題は解決しなければなりません。

そこで男性だけではなく、女性も防災分野への参画をすすめていくことにより、男女それぞれの悩み、家族・子ども、福祉など、様々なニーズに配慮した防災対策・災害支援につなげていけると考えられます。そうした考えを持って防災対策を決める場、マニュアルを作る場、訓練の企画をする場、災害現場で指揮をとる役割などに女性が必ず参画している状況を作り、男女双方の視点に基づいた、よりよい防災体制を築いていきましょう。



## 登録グループイベント情報

9月14日(金)  
22日(土)

### 9月のフリートキング集会

初めての方も、見学大歓迎です！

多胎児の育児の大変さや多胎児ならではの悩みをわかち合い、相談や情報交換をすることでお母さんも子どももいきいきとすごせることを目指しています。

時 10:00~12:00 (申込不要です、都合のよい時間にお越しください)

所 14日(金)橋北児童館、22日(土)川越町つばめ児童館

問 ひまわりクラブ(多胎児育児サークル) 岩原和恵(携帯 090-6586-5752)



9月14日(金)  
10月12日(金)

### Commu - Cafa (コミュ・カフェ) オープン!!

コミュニケーション力は、トレーニングすることにより変化します。体験学習を通して、人への関わり方を見つめ直してみませんか? 気軽に参加できる、学び・共有の場として定期的開催しています。人間関係やコミュニケーションで聞きたいこと、知りたいことなど興味をお持ちの方もどうぞお気軽にお越しください。

時 10:00~12:00 所 シェトワ白揚四日市 文具館 2F 費 500円

問・申 Commu - Lab(コミュ・ラボ) 須山亜由美(メール: blueskyandu@gmail.com)

当日参加大歓迎

Commu-Lab

検索



## 登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介していきます。

今回は

“らく  
楽の会”

さんです。

代表 渡辺 佳代子

連絡先 059-332-6191

メール: skonkans@aol.com

私たちは、親として子供の健康にはどんなことが大切かを考え、意見交換や料理教室などを行っています。特に力を入れているのが、子供の食育についてです。食品添加物や農薬、化学肥料など近年、口に入れる物には健康に影響する不安材料がたくさん潜んでいます。また、食の西洋化による生活習慣病やガンの発症など、あげればキリがありませんが、私たちは親として、何を子供たちに与え伝えてゆくか、をモットーとしています。食育の他にも、いろいろな角度から子供たちの未来を考え、活動を行っています。

私たちと子供の未来について考えてみませんか?

### あとがき

こんにちは! はもりあ四日市の清水です。

8月28日に、はもりあ四日市では子どもたちに男女共同参画に関するクイズと三重県の伝統工芸である伊勢型紙を体験してもらった講座を開催しました。小学校1年生から6年生までを対象とした講座でみなさん、一生懸命に自分だけの作品を作り上げてくれました。これが夏休みの良い思い出になると同時に男女共同参画について考えるきっかけになってくれると良いですね。



### 四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>